

バス停タイムス

2015年4月15日

No.29

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

SEKと団体交渉開催!!

私たちJR東海労新幹線地本は4月9日、「出向先会社の労働条件改善」に関して新幹線エンジニアリング株式会社（SEK）と団体交渉を開催し、大井基地の各職場における労働条件・職場環境改善などについて協議しました。

現状で特段の問題はない?!

職場の作業環境について、検修庫の「エアホースの老朽化」「エアガンにノズルがついていない箇所が多々ある」「200V用コンセントの老朽化による漏電の危険」などを指摘し改善要求しましたが、SEKの回答は「現状で特段の問題はないと考えている」というものでした。

「エアホースには、すでに亀裂が発生している」との指摘をしてもなお、特段の問題はないとの回答に変わりはありませんでしたが、さすがに、200V用コンセントの使用停止中の箇所については原因を確認し修繕要請することを確認しました。

作業者に聞いたが、問題はない?!

検修庫のパン・屋根上点検通路のスリ板体置場が作業実態と合わないことから場所を変更するように要求しました。これについてもSEKは「特段の問題はない」との回答でしたが、その根拠として「作業者から聞いた」としました。しかし、団交に出席した二人の出向組合員には何の確認もありませんでした。どれぐらいの作業者に確認をしたのかは明らかにしませんでした。

とりわけ、第二検修庫については耐震工事により新しい柱が設置されたため通路が狭くなり、作業に支障をきたし労働災害さえおこしかねない現実です。この実態を突きつけられてもなお、SEKは「特段の問題はない」との回答を変えませんでした。

未払い手当は4月支給を確認!!

チャッキバルブ交換の作業手当の支給について確認したところ、「未払いがあったことが確認された為、4月に支給する準備中である。」と回答しました。しかし、なぜ未払いが発生したのかについては、SEK本社は「把握していない」が支払うというものです。

その他、便座交換について、作業手当として現状にあった手当に改善することを要求しました。

社員が自発的に行っている?!会社として業務指示はしていない?!

SEK交検班が始業点呼15分前に工具の準備をするなど、勤務時間前に作業着手している問題について、SEKは『社員が自発的に行っていることであり、会社として業務指示しているものではない』と回答し、「(工具の準備を)やってない社員もいるし、そのことをとがめたりしない」との見解を示しました。

「自発的な社員」が増えたら、他の社員はそれに合わせるのは必然です。それを黙認するSEKは、無給で労働することをヨシとしているということになります。これがエスカレートしたらサービス労働が増え、社員は労働強化に苦しむことになります。

JR東海労は、「現場の島デッキの工具置場のカギの扱いと矛盾がある」「労働時間外に作業に着手していることは労基法に照らし合わせても問題である」と指摘しました。

JR東海労の組合掲示板設置等について議論継続を確認!!

JR東海労は、SEKの事業所内に「JR東海労の掲示板設置」、「会議室の使用」、「組合事務所の便宜供与」についても要求しました。

SEKの回答は「労使に関することがらであり、いまこの場ですすめるとはならない」というものでしたが、今後も協議を積み重ねていくことを確認しました。



**SEKの労働安全衛生法や労働基準法に対する姿勢には問題があります。
この問題をただす為にJR東海労はあらゆる手段を用いて闘いを展開します。**

連絡先(新幹線地本)
ホームページアドレス
メールアドレス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-6-5 TEL03-3201-0350
<http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html>
jrcushinkansen@yahoo.co.jp